



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 三光産業株式会社
コード番号 7922 URL <https://www.sankosangyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3403-8134

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,475	4.2	25		77	59.4	57	70.9
2023年3月期第1四半期	2,375	6.8	14		191		199	604.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 92百万円 (59.7%) 2023年3月期第1四半期 230百万円 (274.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	9.36	
2023年3月期第1四半期	32.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,368	8,078	71.1
2023年3月期	11,218	8,049	71.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 8,078百万円 2023年3月期 8,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		10.00	10.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2024年3月期における1株当たり期末配当金につきましては、7円から10円に変更しております。詳細については、本日(2023年8月10日)公表いたしました「配当予想修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,877	0.6	90		126	183.0	124	15.7	20.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	7,378,800 株	2023年3月期	7,378,800 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,185,873 株	2023年3月期	1,185,873 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	6,192,927 株	2023年3月期1Q	6,192,935 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る各種制限の段階的緩和により緩やかな回復基調がみられるものの、ウクライナ情勢の長期化や世界的なインフレ、為替市場の急激な変動などにより、景気動向については不安定な状況が続いております。

印刷業界においては、日本国内において印刷需要が減少する中、受注競争による単価の下落、サプライチェーンの混乱、また海外においても現地企業との受注競争の激化等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、為替市場の急激な変動や原材料高騰等により業績の見通しが立たない中、売上拡大と新基幹システム構築による効率化の推進により収益の改善に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,475百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

利益面につきましては、売上原価、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、営業損失は25百万円（前年同期は14百万円の営業損失）となりました。また、受取配当金及び為替差益の計上により経常利益は77百万円（前年同期は191百万円の経常利益）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は57百万円（前年同期は199百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

パネル関連製品の幅広い営業展開と、シール・ラベル製品の受注確保のため既存取引先の深耕のほか日用品関連等の新規分野への営業展開を積極的に行い、製造面については、歩留率の改善等による効率化を重点的に進めてまいりました。

主として電気機器関連のラベル・ステッカー関連製品が増収、また株式会社アクシストラス、株式会社ベンリナーが連結子会社に加わったことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,948百万円（前年同期比7.3%増）となりました。また、利益面については、売上原価、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、セグメント損失は27百万円（前年同期は40百万円のセグメント損失）となりました。

日本セグメントに所属する連結子会社は、株式会社トムズ・クリエイティブ、株式会社アクシストラス及び株式会社ベンリナーであります。

② 中国

中国セグメントにつきましては、連結子会社燦光電子（深圳）有限公司について、2019年8月に製造工場を閉鎖し、販売会社として国内の営業部門及び生産提携先との連携を強化し、中国市場における業績の安定化を目指して積極的な営業展開を継続いたしました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は407百万円（前年同期比7.1%増）となり、セグメント利益は18百万円（前年同期は17百万円のセグメント利益）となりました。

なお、中国セグメントに所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子（深圳）有限公司であります。

③ アセアン

アセアンセグメントにつきましては、連結子会社サンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD. について2023年2月に解散および清算が終了し、現在所属する連結子会社サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD. につきましては、日本国内外からの営業面・製造面の支援を受け、積極的な営業活動及び製造工程の改善等を図っております。また、サンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. につきましては、日本国内外から営業面の支援を受け、積極的な営業活動の改善等を図っております。

しかしながら、2021年12月にマレーシアにて発生しました洪水被害の影響を大きく受け、電気機器関連のシール・ラベル分野において受注減となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は120百万円（前年同期比33.0%減）となりました。利益面においては、製造原価、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、セグメント損失は19百万円（前年同期は25百万円のセグメント利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は11,368百万円となり、前連結会計年度末比149百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が33百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が287百万円、その他流動資産が53百万円増加いたしました。商品及び製品が60百万円、のれんが18百万円減少したことによるものであります。

負債総額は3,289百万円となり、前連結会計年度末比119百万円増加いたしました。これは、主に長期借入金が215百万円増加いたしました。短期借入金が51百万円、支払手形及び買掛金が149百万円減少したことによるものであります。

また、純資産総額は8,078百万円となり、前連結会計年度末比29百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円を計上したこと、及び為替換算調整勘定が31百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は71.1%（前連結会計年度末は71.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、当社グループを取り巻く景況感は概ね想定範囲内であることから、現時点では2023年5月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2024年3月期の期末配当予想につきましては、業績ならびに今後の事業展開等を勘案いたしまして、1株当たりの期末配当予想を10円とさせていただきます。これにより、年間配当予想は1株当たり10円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,016,117	2,049,938
受取手形、売掛金及び契約資産	2,368,119	2,655,559
電子記録債権	937,745	665,109
商品及び製品	791,688	731,423
仕掛品	84,584	98,545
原材料及び貯蔵品	220,392	215,070
その他	299,564	352,799
貸倒引当金	△665	△311
流動資産合計	6,717,547	6,768,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,841,229	2,852,190
減価償却累計額	△1,962,397	△1,976,423
建物及び構築物（純額）	878,832	875,766
機械装置及び運搬具	3,116,224	3,138,390
減価償却累計額	△2,592,842	△2,566,980
機械装置及び運搬具（純額）	523,382	571,410
工具、器具及び備品	443,819	445,930
減価償却累計額	△390,769	△392,145
工具、器具及び備品（純額）	53,050	53,785
土地	1,400,602	1,400,955
リース資産	57,167	59,928
減価償却累計額	△52,313	△53,518
リース資産（純額）	4,854	6,409
建設仮勘定	13,121	-
有形固定資産合計	2,873,843	2,908,327
無形固定資産		
のれん	340,458	321,627
ソフトウェア	147,002	136,953
その他	272	24,025
無形固定資産合計	487,734	482,607
投資その他の資産		
その他	1,164,482	1,234,132
貸倒引当金	△25,049	△25,177
投資その他の資産合計	1,139,433	1,208,955
固定資産合計	4,501,011	4,599,889
資産合計	11,218,558	11,368,025

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,191,050	1,041,341
電子記録債務	696,612	715,315
短期借入金	622,330	570,810
未払法人税等	30,428	22,347
賞与引当金	93,642	53,033
株式給付引当金	-	3,000
その他	168,576	275,814
流動負債合計	2,802,640	2,681,663
固定負債		
長期借入金	192,790	407,790
退職給付に係る負債	97,516	94,193
繰延税金負債	63,465	92,689
その他	13,089	12,808
固定負債合計	366,860	607,481
負債合計	3,169,500	3,289,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,277,951	2,277,951
利益剰余金	4,402,089	4,397,167
自己株式	△962,943	△962,943
株主資本合計	7,567,846	7,562,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465,234	531,536
為替換算調整勘定	15,976	△15,581
その他の包括利益累計額合計	481,211	515,955
純資産合計	8,049,058	8,078,880
負債純資産合計	11,218,558	11,368,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,375,208	2,475,927
売上原価	1,932,152	1,986,418
売上総利益	443,055	489,509
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	190,638	192,917
賞与引当金繰入額	28,492	29,515
退職給付費用	12,264	12,280
福利厚生費	38,520	44,687
その他	188,108	236,096
販売費及び一般管理費合計	458,022	515,497
営業損失(△)	△14,967	△25,988
営業外収益		
受取利息	869	682
受取配当金	15,072	17,402
貸倒引当金戻入額	128	231
為替差益	190,776	88,030
その他	2,981	798
営業外収益合計	209,828	107,145
営業外費用		
支払利息	3,060	2,524
その他	98	837
営業外費用合計	3,158	3,361
経常利益	191,702	77,795
特別利益		
固定資産売却益	6,435	647
特別利益合計	6,435	647
特別損失		
固定資産処分損	4,086	280
特別損失合計	4,086	280
税金等調整前四半期純利益	194,051	78,163
法人税、住民税及び事業税	5,401	18,127
法人税等調整額	△10,957	2,039
法人税等合計	△5,555	20,166
四半期純利益	199,607	57,996
親会社株主に帰属する四半期純利益	199,607	57,996

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	199,607	57,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,922	66,302
為替換算調整勘定	69,612	△31,558
その他の包括利益合計	30,690	34,743
四半期包括利益	230,298	92,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	230,298	92,740

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2023年2月14日開催の取締役会決議に基づいて、従業員への帰属意識の醸成と経営参画意識を持たせ、従業員の中長期的な業績向上や株価上昇に対する意欲や士気の高揚、当社の企業価値増大への貢献意識を高めることを目的とした従業員インセンティブ・プランとして「株式付与E S O P信託」を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が当社従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者として、あらかじめ定める株式交付規程に基づき、信託期間中の業績達成率等に応じた当社株式及び当社株式の換価処分金相当額の金銭（以下「当社株式等」という）を、在職時に交付及び給付（以下「交付等」という）するものであります。

本制度の導入により、従業員は当社株式の株価上昇による経済的な利益を享受することができるため、株価を意識した従業員の業務遂行を促すとともに、従業員の勤務意欲を高める効果が期待できます。

(2) 会計処理の方法

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号2015年3月26日）を適用しております。

(3) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末33,626千円、98,900株、当第1四半期連結会計期間末33,626千円、98,900株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,814,918	380,814	179,475	2,375,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	426,202	286,967	1,345	714,516
計	2,241,120	667,781	180,821	3,089,724
セグメント利益又は損失（△）	△40,942	17,513	25,184	1,756

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,756
セグメント間取引消去	△16,723
四半期連結損益計算書の営業損失	△14,967

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」セグメントにおいて、「株式会社アクシストラス」の全株式を取得したことにより、当第1四半期連結累計期間に発生したのれんの額は173,224千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,948,028	407,712	120,186	2,475,927
セグメント間の内部売上高 又は振替高	237,620	197,455	1,603	436,678
計	2,185,649	605,168	121,789	2,912,606
セグメント利益又は損失 (△)	△27,056	18,934	△19,834	△27,956

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△27,956
セグメント間取引消去	1,968
四半期連結損益計算書の営業損失	△25,988

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。